北斗市立大野小学校

生活だより

令和５年７月２６日
Ｎｏ．３
発行　生徒指導部

スマホのトラブル、保護者の責任となります！

スマホを持つ子どもが増え、友達とラインを通して連絡を取り合うという話をよく聞きます。スマホは便利な面が多くある一方、「オンラインゲームでのトラブル」「SNS での誹謗中傷」など、**使い方を間違えると、トラブルに巻き込まれたり、加害者や被害者に**なったりします。

今回、下記にチェックシートを載せましたので、ご家庭のルールづくりの参考にしていただければと思います。また、**スマホに関することは、保護者の責任となります。**子どもがどのように使用しているか把握できる環境のもとで使用させるようお願いします（内閣府の HP で「普及啓発リーフレット」と検索すると。様々な資料があります。参考にしてください。）

まずはチェック

子供にスマートフォンを持たせる前に

スマートフォンを使うようになれば、インターネットを通じて年齢・性別・場所を問わず多くの人とつながる可能性が生じます。そこで、保護者自身が意識して行動したいことを以下にまとめました。あなたが苦手なことはありますか？

□ スマートフォンを操作できる（資料や情報などがあれば簡単な設定も自分でできる）	まずは自分で使って基本的な操作を把握しておきましょう。そして、子供が安全に使える環境を整えてあげましょう。
□ 情報モラルやフィルタリングについての基礎知識がある	情報モラルもフィルタリングも、子供をトラブルから守る大切な知識です。学校や地域で開催する研修会、Webの情報、書籍、事例集などで積極的に学びましょう。
□ スマートフォンの正しい利用を態度で示すことができる	歩きスマホをしない、食事中や就寝前は使わないなど、保護者自身が見本となって良いマナーを学ばせましょう。
□ スマートフォンの使用目的や使い方について、子供と話し合うことができる	なぜ必要なのか、どのようなことに使うのか、子供の気持ちを聞きましょう。目的を確認した上で、使い方を一緒に考えましょう。
□ スマートフォンの利用ルールを子供と一緒に考えて決めることができる	大人が勝手に決め付けて押し付けてもダメ。子供の言い分にも耳を傾けながらじっくりと話し合い、ルールを決めましょう。
□ 家庭内で決めたルールを定期的に話し合い、適宜見直すことができる	利用範囲や時間、課金、各種制限など、発達・成長段階に合わせてルールを調整しましょう。子供と定期的に話し合うことは、保護者が新しい情報を得る機会にもなり、お互いの理解が高まるのでおすすめです。